

中沢さんとの思い出などを語るミサヨさん(広島市中区で)

ゲンの平和愛 継承誓う

中沢さん妻述懐 参加者ら功績たたえる

40周年催し



昨年12月に73歳で亡くなった漫画家・中沢啓治さんの代表作「はだしのゲン」の連載開始40周年を記念するイベントが最終日を迎えた4日、広島平和記念資料館(中区)で中沢さんの妻・ミサヨさん(70)のトークがあり、参加者約120人が中沢さんの功績を振り返った。

ミサヨさんは冒頭、広島市内の自宅の本棚にあった未発表の詩「広島 愛の川」を紹介。6年程前に入院中だった中沢さんが、友人から「広島の歌を作ってほしい」との依頼を受けて、ベッド上で書き上げたという

経緯を説明した。

海に面し、市内に多くの川が流れる広島から、海を通じて平和を届けたいと願う内容。「川は広島のはだしの海へ流れ着く」などと自ら朗読し、参加者と共に中沢さんが願った平和な世界に思いをはせた。

また、中沢さんとは文通を続けて結婚に至ったことや、原爆に関する漫画が読者に受け入れられるの不安を覚えていたことなど、プライベートも披露した。

イベントでは、最後にゲンが伝えたかったことをテーマに、若者らが作った歌を参加者全員で合唱。実行委員会委員長・渡部久仁子さんが「今日がスタート。みんな一緒に『はだしのゲン』を広めていきましょー」と話した。

同市安佐南区、大学教員久保直子さん(31)は詩を聞き、「平和への願いを、海につながる広島に託した発想は、改めてすごいな」と思った。ゲンを通じて中沢さんの願いが世界に広がれば」と話した。

広島

広島総局
〒730-0042
広島市中区
国泰寺町1-3-20
☎(代)082-243-0101
FAX 243-0103

ホームページ
<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hiroshima/>

呉支局
〒737-0051
呉市中央2-6-10
村上ビルII3-A
☎(代)0823-22-5425
FAX 22-5426

福山支局